

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(市町総括表)
【単独事業】

市町名	矢板市
-----	-----

(単位:円)

No.	単独事業名		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	合計
1	地域共助型生活交通(コリーナ矢板・玉田)運行事業	総事業費	1,622,031	2,948,042	3,000,000	3,000,000	3,000,000	13,570,073
		うち市町支出額	1,287,825	2,290,057	2,500,000	2,500,000	2,500,000	11,077,882
		うち県交付金	342,913	525,000	600,000	0	0	1,467,913
2	HAPPY HAPPY Project 推進事業	総事業費	1,022,511	691,428	800,000	800,000	800,000	4,113,939
		うち市町支出額	875,000	691,423	800,000	800,000	800,000	3,966,423
		うち県交付金	430,500	325,708	400,000	0	0	1,156,208
3	矢板駅前イルミネーション事業	総事業費	1,041,402	996,095	950,000	950,000	950,000	4,887,497
		うち市町支出額	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	4,000,000
		うち県交付金	400,000	400,000	400,000	0	0	1,200,000
4	片岡駅前イルミネーション事業	総事業費	795,243	524,511	515,000	515,000	515,000	2,864,754
		うち市町支出額	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	2,500,000
		うち県交付金	250,000	250,000	250,000	0	0	750,000
5	高校生まちづくり活動事業	総事業費	133,440	178,250	120,000	120,000	120,000	671,690
		うち市町支出額	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	500,000
		うち県交付金	50,000	50,000	50,000	0	0	150,000
6	ともなり文芸祭り	総事業費	1,114,627	902,040	535,349	550,000	550,000	3,652,016
		うち市町支出額	1,000,000	830,000	500,000	500,000	500,000	3,330,000
		うち県交付金	500,000	415,000	250,000	0	0	1,165,000
7	川崎城跡公園周辺地域再生事業	総事業費		427,679	370,000	370,000	370,000	1,537,679
		うち市町支出額		270,000	270,000	270,000	265,000	1,075,000
		うち県交付金		135,000	135,000	135,000	0	405,000
8		総事業費						
		うち市町支出額						
		うち県交付金						
9		総事業費						
		うち市町支出額						
		うち県交付金						
10		総事業費						
		うち市町支出額						
		うち県交付金						
市町計		総事業費	5,729,254	6,668,045	6,290,349	6,305,000	6,305,000	31,297,648
		うち市町支出額	4,562,825	5,481,480	5,470,000	5,470,000	5,465,000	26,449,305
		うち県交付金	1,973,413	2,100,708	2,085,000	135,000	0	6,294,121

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	矢板市
事業名	地域共助型生活交通(コリーナ矢板・玉田)運行事業
事業主体の名称	コリーナ矢板・玉田共助バス運営会
代表者の名称	会長 戸井出流
事業主体の所在	〒329-1575 矢板市大槻2320-71 コリーナ矢板自治公民館内
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> 団体の目的: 市営バス路線の見直しに伴い交通空白地となる沿線住民の移動手段を確保するため、地域共助型生活交通を運行する。 設立年月日: 平成3年5月1日 構成員等: コリーナ矢板自治会員及び玉田行政区の住民
当該事業に係る地域の現状と課題	コリーナ矢板・玉田地区は、起伏のある地形を活かした住宅地であり、徒歩での移動が困難なため、市営バスの利用者が多く(令和元年度延べ2,044人)、片岡小学校からの下校にも市営バスが利用されていた(令和元年度522人)。現在、住民へのアンケート等の結果、地域のニーズに合わせて柔軟に運行計画が作成できる地域共助型生活交通を導入しているが、地域の住民からの意見・要望があり、ルートの変更や時刻表の見直しなど、細かい部分での運行・運営に苦慮している。
事業目的	地域住民の移動ニーズに合わせた移動手段の確保を通じて、高齢者支援や児童の登下校、地域コミュニティの強化を図る。
事業概要	<p>地域共助型生活交通(道路運送法第78条第2項に規定された自家用有償旅客運送の一つ)により、住民ドライバー(指定された講習を受講した場合)が運転する自家用自動車1台で、コリーナ矢板・玉田地区の住民の輸送を行った。</p> <p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2種免許を持っている新規の運転手の確保や継続して年間バス(R4・75世帯)を販売するなど、地域共助型生活交通の運行・運営の向上に努めた。 運転手ミーティングを実施し、現状の課題の把握や危険箇所の共通認識を図った。 アルコールチェックの義務化による乗車前のアルコールチェックや体温測定、車両の点検を徹底した。 <p>【令和5年度】</p> <p>上記の取組みの課題を把握、改善し、参画住民の増加を図る。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】安心して快適に暮らすことができる活力ある地域をつくる</p> <p>【KPI】デマンド交通及び市営バス1日当たり乗車人数 令和7年度80人以上</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 運行内容の決定 運転者講習 運行マニュアルの整備 車両及びドライバー手配 保険加入 地域共助型生活交通の運行 課題把握、改善 	<ul style="list-style-type: none"> 地域共助型生活交通の運行 ドライバーの育成 課題把握、改善 状況により、公共交通会議を開き、ルート追加や本数の増便等の見直しを図る 	<ul style="list-style-type: none"> 地域共助型生活交通の運行 課題把握、改善 		<ul style="list-style-type: none"> 地域共助型生活交通の運行 課題把握、改善
事業費	1,622,031	2,948,042	3,000,000	7,570,073	7,240,000
市町支出金(ソフト事業分)	1,287,825	2,290,057	2,500,000	6,077,882	3,500,000
うち県交付金	342,913	525,000	600,000	1,467,913	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	334,206	657,985	500,000	1,492,191	3,740,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	生活環境課 生活業務担当
担当者名	菊地 健児
電話	0287-43-6755
FAX	0287-43-7501
E-mail	seikatsukankyo@city.yaita.tochigi.jp

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	矢板市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	地域共助型生活交通(コリーナ矢板・玉田)運行事業	
対象年度	4	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市支出金	2,290,057	矢板市より
料金収入	386,359	運賃収入、雑収入
前年度繰越金	271,626	前年度運営会独自収入の繰越金
計	2,948,042	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
賃金	1,223,500	1,223,500	0	0	ドライバー:5,000円×238日外
消耗品費	245,894	245,894	120,000	0	事務用消耗品ほか
燃料費	602,814	602,814	300,000	0	ガソリン代
修繕料	115,729	115,729	55,000	0	車両維持修繕
出資金	150,000	0	0	150,000	コリーナコミュニティへ業務委託
保険料	102,120	102,120	50,000	0	任意保険代
雑費	28,270	0	0	28,270	制服(夏用)
繰越金	479,715	0	0	479,715	令和5年度事業へ繰越
計	2,948,042	2,290,057	525,000	657,985	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	矢板市
事業名	HAPPY HAPPO Project 推進事業
事業主体の名称	泉交流協議会
代表者の名称	会長 森戸康雄
事業主体の所在	矢板市本町5番4号
事業主体の概要	<p>団体の目的:魅力ある地域づくりのため、泉地区を中心とした観光・文化施設等のネットワーク化を推進し、地域間交流や情報発信等を実施することを目的とする。</p> <p>・設立年月日:平成23年11月30日</p> <p>・構成員等:活動の趣旨に賛同する企業・団体等</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>平成27年度から「HAPPY HAPPO Project」として情報誌やホームページ、SNS等で情報発信に取り組んでいる。また、山縣有朋記念館、矢板旧宅、山縣農場および矢板のリンゴが構成文化財となっている「明治貴族が描いた未来～那須野が原開拓浪漫譚～」が平成30年5月に日本遺産に認定された事が追い風となり、八方ヶ原や県民の森のエリアの観光入込数は年々増加している。</p> <p>その様な中、施設間の「横のつながり」と八方ヶ原の貴重な観光資源である大間々レンゲツツジの樹勢維持が喫緊の課題となっている。</p>
事業目的	道の駅やいた、観光案内所や各種イベントでの観光PR等をおして、泉地区を中心とした観光・文化施設の周遊促進及び情報発信を図る。また、八方ヶ原の貴重な観光資源である大間々レンゲツツジの樹勢維持を図るための保護事業を行う。
事業概要	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光PR事業(道の駅等での観光PR事業、HP・SNSによる情報発信) ・特産品PR事業(日本遺産フェスティバル等への出展) ・八方ヶ原ツツジ保護事業(高木の伐採、殺虫剤・肥料の散布、枯れ枝除去及びモニタリング、遊歩道整備) <p>【令和4年度】【I-d】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光PR事業(矢板北PAでの観光PR事業、HP・SNSによる情報発信) ・特産品PR事業(日本遺産フェスティバル等への出展) ・八方ヶ原ツツジ保護事業(殺虫剤の散布、枯れ枝除去及びモニタリング、景観確保のための倒木処理、苗木の育成) <p>【令和5年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光PR事業(道の駅等での観光PR事業、HP・SNSによる情報発信) ・特産品PR事業(日本遺産フェスティバル等への出展) ・八方ヶ原ツツジ保護事業(枯れ枝除去及びモニタリング、遊歩道整備)
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】来てもらう、住んでもらう、新しい人の流れをつくる</p> <p>【KPI】交流人口数 1,879,864人(R2) → 2,000,000人(R7)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①観光・特産品PR出展 ②大間々高木伐採 ③大間々レンゲツツジ 殺虫剤・肥料散布 ④大間々レンゲツツジ 枯れ枝除去 ⑤遊歩道整備	①観光・特産品PR出展 ③大間々レンゲツツジ 殺虫剤・肥料散布 ④大間々レンゲツツジ 枯れ枝除去 ⑤遊歩道整備 ⑥景観確保のための倒木処理 ⑦レンゲツツジの苗木育成	①観光・特産品PR出展 ④大間々レンゲツツジ 枯れ枝除去 ⑤遊歩道整備		①観光・特産品PR出展 ④大間々レンゲツツジ 枯れ枝除去 ⑤遊歩道整備
事業費	1,022,511	691,428	800,000	2,513,939	800,000
市町支出金 (ソフト事業分)	875,000	691,423	800,000	2,366,423	800,000
うち県交付金	430,500	325,708	400,000	1,156,208	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	147,511	5	0	147,516	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課 観光スポーツツーリズム担当
担当者名	阿久澤 大智
電話	0287-43-6211
FAX	0287-44-3324
E-mail	kankou@city.yaita.tochigi.jp

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	矢板市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	HAPPY HAPPO Project 推進事業	
対象年度	4	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	300,000	運営費補助金①④⑤
補助金	391,423	運営費補助金③⑥⑦
雑収入	5	貯金利息
計	691,428	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	13,300	13,300	6,650	0	①観光PR用特産品代
消耗品費	39,781	39,781	19,890	0	③殺虫剤・肥料購入代 ④作業用品購入代
燃料費	3,614	3,614	1,807	0	④ボランティア送迎バス燃料代
食糧費	0	0	0	0	④ボランティア飲み物代
通信運搬費	7,110	7,110	3,555	0	①パンフレット送付代
手数料	1,320	1,320	660	0	①②支払振込手数料
保険料	1,103	1,103	551	0	④ボランティア保険料
委託料	585,189	585,189	292,595	0	①パンフレット校正及び増刷委託 ②伐採委託料
繰越金	40,011	40,006	0	5	
計	691,428	691,423	325,708	5	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	矢板市
事業名	矢板駅前イルミネーション事業
事業主体の名称	一般社団法人矢板市観光協会
代表者の名称	会長 高柳 真知子
事業主体の所在	〒329-2161 矢板市扇町1-13-1 ツーリングビル2階
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 選ばれた観光地を目指し、矢板市における観光地づくりの司令塔となる ・設立年月日: 令和3年6月24日 ・構成員等: 活動の趣旨に賛同する個人・法人(会員数102名)
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>矢板市の玄関口である矢板駅周辺の活性化に向け、駅が地域住民にますます身近な存在となり、地域住民の癒しの場、ふれあいの場として活用することが課題となっている。</p> <p>これまで、市民と駅周辺の事業主を中心に構成される矢板まちづくり研究所が2008年より本事業を実施していたが、今年度解散に至った。しかし、矢板の冬の風物詩として定着したイルミネーションを途絶えさせたいけないと、一般社団法人矢板市観光協会が本事業を継承することとなった。</p> <p>近年では県立矢板高校の電子技術開発部と連携して、イルミネーションの作成を行うなど、新たな担い手の確保や、多団体との連携を進めている。</p> <p>矢板駅は一般の通勤者に加え、市内に3校ある高校に市外から通学する生徒が多数利用することから、これらに関係人口と捉え、将来的なU/Jターンを促すため、地域を身近に感じてもらうような活動が不可欠といえる。</p>
事業目的	<p>矢板市の玄関口である矢板駅前を、地域住民が主体となってイルミネーションで彩ることにより、矢板市の住民一人ひとりが矢板市に愛着と誇りを持ち、矢板市民という地域連帯意識を深めることを目的とする。また、市外から矢板市へ通学する生徒に対しても、高校生が参画した駅前でイベントを実施することで、様々な利用者に対して地域への帰属意識を高めることを目的とする。</p>
事業概要	<p>・矢板駅西口を中心とした駅前の中心市街地において、住民主体によりイルミネーションの点灯と関連するイベントを企画する。</p> <p>【令和4年度】【I-d】 現在、矢板駅西口広場から県道矢板停車場線の北に向かって、民間事業者による複合施設(矢板にぎわい館)や空店舗を活用した施設の開発が進んでいる。それを踏まえ、同エリアまでイルミネーションを拡大し、冬の旧市街地を彩る。この取り組みを通じ、商工会など、まちづくり団体の拠点と連携を図った。 また、矢板高校電子科生徒による制作作品を展示する場の提供や、異世代間の交流を図る機会とした。</p> <p>点灯式 令和4年12月2日(金) 17:30～ カウントダウンによる点灯、認定こども園すみれ幼稚園の園児によるハンドベル演奏 点灯期間 令和4年12月2日(金)～令和5年2月28日(火) 点灯時間 17:00から23:30 電球数 約2万球、矢板高校電子科制作のイルミネーション設置</p> <p>【令和5年度】 上記内容事業を継続し、地域住民や他のまちづくり団体、近隣高校生との交流を図る。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】来てもらう、住んでもらう、新しい人の流れをつくる 【KPI】交流人口数 1,879,864人(R2) → 2,000,000人(R7)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①「矢板駅前イルミネーション事業」実施 ②地域住民の交流	①「矢板駅前イルミネーション事業」実施 ②地域住民の交流	①「矢板駅前イルミネーション事業」実施 ②地域住民の交流		①「矢板駅前イルミネーション事業」実施 ②地域住民の交流
事業費	1,041,402	996,095	950,000	2,987,497	950,000
市町支出金 (ソフト事業分)	800,000	800,000	800,000	2,400,000	800,000
うち県交付金	400,000	400,000	400,000	1,200,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	241,402	196,095	150,000	587,497	150,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課 観光スポーツツーリズム担当
担当者名	菊地 明子
電話	0287-43-6211
連絡先 FAX	0287-44-3324
E-mail	kankou@city.yaita.tochigi.jp

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	矢板市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	矢板駅前イルミネーション事業	
対象年度	4	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	800,000	市補助金
負担金	196,095	一般社団法人矢板市観光協会負担金
計	996,095	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	10,000	0	0	10,000	点灯式出演者謝礼
消耗品費	4,186	0	0	4,186	イルミネーションほか消耗品購入
光熱水費	19,909	0	0	19,909	イルミネーション電気代
保険料	0	0	0	0	設置作業傷害保険料
手数料	5,000	0	0	5,000	道路使用許可申請手数料
委託料	957,000	800,000	400,000	157,000	電気工事及びイルミネーション設置委託費
計	996,095	800,000	400,000	196,095	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	矢板市
事業名	片岡駅前イルミネーション事業
事業主体の名称	矢板市片岡地区コミュニティ推進協議会
代表者の名称	会長代理 副会長 市村 勇治
事業主体の所在	〒329-1571 矢板市片岡2098番地3
事業主体の概要	<p>・団体の目的:地区住民の自治精神を基として関係諸機関、団体との連携を密にし、住民の自主参加を促し、地域連帯意識を深め、健康で文化的な生活が営めるような地域づくりをすることを目的とする。</p> <p>・設立年月日:昭和53年4月19日</p> <p>構成員等:片岡地区各行政区の代表(役員数14名)</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>本事業の主体となる片岡地区コミュニティ推進協議会は、平成20年度から片岡地区の玄関口である片岡駅前の活性化を図るため、イルミネーションで駅前を明るく彩る事業に取り組んでいる。</p> <p>平成26年に片岡駅がリニューアルし、駅西口に広場が設けられ、そこを活用した自転車のプロレースが市民の協力のもと開催されるなど、片岡駅は地域住民の集いの場としての機能が高まっているといえる。</p> <p>このような背景のもと、平成31年度からは事業規模を拡大し、地域の事業者や地域おこし協力隊の協力のもと飲食ブースや体験ブースを拡充するなどした結果、多くの地域住民が集う交流の場に成長している。</p> <p>今後は、本事業に関わる地域住民を増やすことで、片岡駅周辺のさらなる活性化や、冬季・夜間の防犯意識の向上が求められる。</p>
事業目的	<p>片岡地区の玄関口である片岡駅前をイルミネーションで彩ることにより、片岡地区の住民一人ひとり片岡地区に愛着と誇りを持ち、片岡地区の住民という地域連帯意識を深め、「健康で明るく住み良い地域づくり」に寄与することを目的とする。</p>
事業概要	<p>片岡地区住民および事業者で構成される片岡地区コミュニティ推進協議会を主体として、片岡地区の玄関口である片岡駅前を地域住民の癒しの場、ふれあいの場とし、さらには、防犯意識の向上を図り、本来の目的でもある「健康明るく住み良い地域社会」の実現することを目的に、イルミネーション点灯式等を実施する。</p> <p>【令和4年度】【I-d】片岡駅を利用する市民と、市内の事業所に勤務する従業員らが協力して飾りつけを行うことで、地域住民との交流ができ、顔の知れた関係になることで、防犯意識の向上を図ることができた。</p> <p>イルミネーション・キャンドルの点灯 点灯期間 令和4年12月3日(土)～令和5年1月14日(土) 点灯時間 17:00から23:30</p> <p>【令和5年度】 上記事業を継続し、地域住民主体による交流の場づくりを推進する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】来てもらう、住んでもらう、新しい人の流れをつくる</p> <p>【KPI】交流人口数 1,879,864人(R2) → 2,000,000人(R7)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①「片岡駅前イルミネーション事業」実施 ②地域住民の交流	①「片岡駅前イルミネーション事業」実施 ②地域住民の交流	①「片岡駅前イルミネーション事業」実施 ②地域住民の交流		①「片岡駅前イルミネーション事業」実施 ②地域住民の交流
事業費	795,243	524,511	515,000	1,834,754	515,000
市町支出金 (ソフト事業分)	500,000	500,000	500,000	1,500,000	500,000
うち県交付金	250,000	250,000	250,000	750,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	295,243	24,511	15,000	334,754	15,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課 観光スポーツツーリズム担当
担当者名	菊地 明子
電話	0287-43-6211
FAX	0287-44-3324
E-mail	kankou@city.yaita Tochigi.jp

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	矢板市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	片岡駅前イルミネーション事業	
対象年度	4	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	500,000	市補助金
負担金	24,511	協議会負担金
計	524,511	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	377,627	370,000	18,500	7,627	イルミネーション消耗品購入
通信運搬費	764	0	0	764	切手・ハガキ購入
手数料	1,980	0	0	1,980	振込手数料
保険料	9,140	0	0	9,140	ボランティア保険代
委託料	135,000	130,000	65,000	5,000	電気設置委託料
使用料及び賃借料					
計	524,511	500,000	83,500	24,511	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	矢板市
事業名	高校生まちづくり活動事業
事業主体の名称	YAITA ALL DIRECTIONS
代表者の名称	代表 荻原 夕姫
事業主体の所在	〒329-2192 矢板市本町5番4号
事業主体の概要	<p>・団体の目的:若者が目指すまちづくりを推進するため、高校生が中心となり、地域の方たちと関わりあいながら、まちなかのにぎわい創出や地域活性化に寄与する活動に努める。</p> <p>・設立年月日:平成30年7月</p> <p>・構成員等:矢板市内に居住・通学する高校生および本会の目的に賛同する高校生</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>矢板市では、中心市街地の空洞化や少子高齢化が進行していることから、地域の活力低下などが課題となっている。</p> <p>そこで、市内の3高校の生徒が中心となり立ち上げた学生団体「Yaita All Directions」の取り組みを通じて、地域活性化を図るとともに、メンバーである高校生たちを地域の担い手として育成することを目指す。</p> <p>令和4年6月現在、メンバー30人(1年生2人、2年生16人、3年生12人)中、27名が矢板東高校生であり、高校や学年によりメンバーに偏りがある。また、メンバーは高校生限定。秋には3年生が引退し、1・2年生に役員などを引き継ぐこととなることから、そのタイミングで主要メンバーが変わるため、その節目をまたいだ長期内容はなかなか実現が難しい。</p>
事業目的	<p>若者が目指すまちづくり活動を支援する。</p> <p>また、高校生が地域の方たちと関わりあいながら、矢板市の魅力に関する情報発信を行うことで、地域の活性化を図る。</p>
事業概要	<p>「YAITA ALL DIRECTIONS」(略称:YAD)は、平成30年7月に市内3高校(矢板東・矢板・矢板中央)の高校生7名によって設立された団体である。メンバーである高校生たちが、主体的にまちを盛り上げる取り組みを行い、その活動を通じて「居場所」を体験してもらうとともに、活動拠点である「矢板ふるさと支援センター-TAKIBI」が高校生の集まる「居場所」となるよう活動を継続した。</p> <p>【令和4年度】</p> <p>①メンバーの拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メンバー募集のチラシの配布や、まちあるきマップ第4弾の配布により、団体PRを行い、他校生も含めメンバー拡充を図った。 <p>②まちあるきマップの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「おすすめスポットマップ第4弾」の作成・配布を行った。 <p>③地域おこし協力隊との連携、イベントの計画・検討・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊と連携し、廃校を活用して、カフェやフリーマーケットなどが楽しめるイベント等や気球搭乗などのアウトドア体験イベントを企画し、運営ボランティアとして参加した。 ・上記の課題である節目をまたいだ長期内容の実現に向けて、地域おこし協力隊をコーディネーターとし、節目時期を考慮せずイベント等の計画・検討・実施を行った。 <p>④その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSを活用した団体及び地域に関する情報発信をした。 <p>【令和5年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点にて、活動の継続および新規事業を実施する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】安心して快適に暮らすことができる活力ある地域をつくる</p> <p>【KPI】市民協働のまちづくり事例数(累計) 現状値(H28-R2)10団体→目標値(R3-7)14団体</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①メンバーの拡充 ②まちあるきマップの作成 ③イベントの実施 ④SNSを活用した情報発信	①メンバーの拡充 ②まちあるきマップの作成 ③イベントの実施 ④SNSを活用した情報発信	①メンバーの拡充 ②まちあるきマップの作成 ③イベントの実施 ④SNSを活用した情報発信		①メンバーの拡充 ②まちあるきマップの作成 ③イベントの実施 ④SNSを活用した情報発信
事業費	133,440	178,250	120,000	431,690	120,000
市町支出金 (ソフト事業分)	100,000	100,000	100,000	300,000	100,000
うち県交付金	50,000	50,000	50,000	150,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	33,440	78,250	20,000	131,690	20,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課 商工担当
担当者名	阿久津 実優
電話	0287-43-6211
FAX	0287-44-3324
E-mail	syoukou@city.yaita.tochigi.jp

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	矢板市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	高校生まちづくり活動事業	
対象年度	4	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	100,000	
雑収入	64,950	イベント事業収入
繰越金	13,300	前年度繰越金
計	178,250	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
印刷製本費	99,110	90,000	45,000	9,110	マップ印刷代
保険料	12,950	10,000	5,000	2,950	ボランティア保険料
繰越金	66,190	0	0	66,190	
計	178,250	100,000	50,000	78,250	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	矢板市
事業名	ともなり文芸祭り
事業主体の名称	ともなり文芸祭り実行委員会
代表者の名称	委員長 松平 祐宣
事業主体の所在	矢板市本町5番4号
事業主体の概要	<p>・団体の目的:優れた歌人として、鎌倉時代の文学史を飾った本紙初代川崎城主塩谷朝業翁を偲び、ともなり文芸祭りを開催することにより、本市文化の創造と本市のイメージアップを図ることを目的とする。</p> <p>・設立年月日:平成13年5月23日</p> <p>・構成員等:文芸に秀でた市民10人が委員となっており、近代短歌研究者である篠弘氏が顧問を務める。</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>優れた歌人・塩谷朝業にちなみ、平成7年度、栃木県で開催された第10回国民文化祭において、矢板市が短歌会場となり大勢の愛好者が集った。これを契機に市民の文芸熱も高まり、この後、ともなり文芸祭りが開催されることとなった。平成26年度の第16回大会から誌上大会となり、県内から短歌、俳句、川柳、誌の4部門において作品を募っている。短歌一般の部は全国から募集することとし、多くの応募があることから本市の知名度・イメージ向上に寄与しているが、文芸を通して市民に郷土愛の醸成を図っていくことが課題になっている。</p>
事業目的	<p>短歌・俳句・川柳・誌を通して市民文化が更に深化・発展することにより、心豊かな地域づくりを図る。</p> <p>また、短歌は全国から作品を募集するため、本市の知名度やイメージ向上のみならず、参加する市民が全国とのつながりを意識することにより、郷土愛の醸成を図る。</p>
事業概要	<p>【令和4年度】</p> <p>当実行委員会が事業主体となって事業を展開し、矢板市の更なるPRや市民の向上心醸成を図るため、短歌部門において全国から作品を募集した。今年度は投稿用紙による応募のほかオンラインでも作品を投稿できるよう、システムを構築。</p> <p>市内の小中学校とも連携し、若年層を対象とした郷土愛と国語教育発展の場とした。</p> <p>市内の文芸熱、郷土愛を醸成するため、「ともなり文芸祭り」事業を実施した。</p> <p>なお、今年度は国体開催により、例年募集している自由題のほかに文化プログラムとして、スポーツを題材とした作品も併せて県内外から募集した。</p> <p>①文芸作品の募集(7月～9月)</p> <p>②国体開催期間中の作品募集(10月)</p> <p>③入賞作品の審査・講評(10～1月)</p> <p>④入賞作品発表 ※応募総数 5,421点</p> <p>【令和5年度】</p> <p>本事業を通して文芸熱、郷土愛の醸成が図られるよう、広く作品を公募しながら本事業を継続する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】来てもらう、住んでもらう、新しい人の流れをつくる</p> <p>【KPI】交流人口数 1,879,864人(R2) → 2,000,000人(R7)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①文芸作品の募集 ②入賞作品の講評 ③入賞作品集の発行	①文芸作品の募集 ②入賞作品の講評 ③入賞作品集の発行	①文芸作品の募集 ②入賞作品の講評 ③入賞作品集の発行		①文芸作品の募集 ②入賞作品の講評 ③入賞作品集の発行
事業費	1,114,627	902,040	535,349	2,552,016	550,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	830,000	500,000	2,330,000	500,000
うち県交付金	500,000	415,000	250,000	1,165,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	114,627	72,040	35,349	222,016	50,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課政策推進係
担当者名	飯塚 悟志
電話	0287-23-8793
FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakusuishin@city.ohatawara.tochigi.jp

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	矢板市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	ともなり文芸祭り	
対象年度	4	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	830,000	
投稿料	0	短歌一般投稿料(1,000円×100組)
雑収入	3	銀行利息
繰越金	72,037	前年度繰越金
計	902,040	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	43,816	43,000	21,500	816	事務用消耗費
食糧費	1,660	0	0	1,660	会議お茶代
報償費	339,426	339,000	169,500	426	選者謝金、入賞者商品
印刷製本費	67,328	67,000	33,500	328	ポスター、チラシ、申込書印刷費
通信運搬費	54,753	54,000	27,000	753	投稿関係通知郵送料
広告費	54,000	47,000	23,500	7,000	広告掲載料
手数料	18,550	0	0	18,550	振込手数料、小為替購入時手数料
委託料	280,000	280,000	140,000	0	オンライン応募構築業務等
繰越金	42,507	0	0	42,507	
計	902,040	830,000	415,000	72,040	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	矢板市
事業名	川崎城跡公園周辺地域再生事業
事業主体の名称	川崎城跡公園再生市民会議
代表者の名称	会長 東泉 和男
事業主体の所在	矢板市本町5-4
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> 団体の目的: 地域の活性化を図るために川崎城跡周辺の景観整備を行う。 設立年月日: 平成19年5月17日 構成員等: 活動の趣旨に賛同する市内在住の個人及び団体
当該事業に係る地域の現状と課題	川崎城跡公園は約800年前、塩谷地方を領有していた塩谷氏の5代朝義が宇都宮業綱の次男朝業を後継者に迎え築城した川崎城の跡地を整備した公園であり、空堀や土塁、本丸など昔をしのばせる史跡が随所に残っております。園内には、梅の花が咲き誇り素晴らしい景観も満喫できます。しかし、年々園内施設の老朽化が進んでおり、周辺の美化活動を継続しながら、景観再整備の必要性が非常に高まってきている。
事業目的	本市のシンボルのひとつであり、指定文化財にもなっている「川崎城跡」にある川崎城跡公園を地域に愛される公園にするとともに、地域の活性化に寄与することを目的とする。
事業概要	<p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①園内の草刈等の維持管理を行った。 ②園内の花壇整備や河津桜の植樹等の景観整備を行った。 ③栃木県フィルムコミッションに登録されているともなり橋の保全を図った。 ④ともなり橋ライトアップを行った。 <p>【令和5年度】</p> <p>前年度の取組を踏まえ事業の充実を図る。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】来てもらう、住んでもらう、新しい人の流れをつくる</p> <p>【KPI】交流人口数 1,879,864人(R2) → 2,000,000人(R7) 観光客入込数 1,000,000人(R2) → 1,800,000人(R7)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①園内の草刈等の維持管理 ②園内の花壇整備や河津桜の植樹等の景観整備 ③栃木県フィルムコミッションに登録されているともなり橋の保全 ④ともなり橋ライトアップ	①園内の草刈等の維持管理 ②園内の花壇整備や河津桜の植樹等の景観整備 ③栃木県フィルムコミッションに登録されているともなり橋の保全 ④ともなり橋ライトアップ	①園内の草刈等の維持管理 ②園内の花壇整備や河津桜の植樹等の景観整備 ③栃木県フィルムコミッションに登録されているともなり橋の保全 ④ともなり橋ライトアップ		①園内の草刈等の維持管理 ②園内の花壇整備や河津桜の植樹等の景観整備 ③栃木県フィルムコミッションに登録されているともなり橋の保全 ④ともなり橋ライトアップ
事業費	427,679	370,000	370,000	1,167,679	370,000
市町支出金(ソフト事業分)	270,000	270,000	270,000	810,000	165,000
うち県交付金	135,000	135,000	135,000	405,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	100,000
うち県交付金				0	
その他自主財源等	157,679	100,000	100,000	357,679	105,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	都市整備課 整備担当
担当者名	金瀬 友泰
電話	0287-43-6212
FAX	0287-43-9790
E-mail	tosiseibi@city.yaita.tochigi.jp

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	矢板市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	川崎城跡公園周辺地域再生事業	
対象年度	4	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	270,000	市補助金 270,000円
雑収入	2	預金利息
繰越金	157,677	前年度繰越金
計	427,679	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
消耗品費	27,838	0	0	27,838	ともなり橋防腐剤、 除草剤、草刈り費用
燃料費	8,494	8,000	4,000	494	刈り払い機用燃料
食糧費	1,100	0	0	1,100	
通信運搬費	5,546	4,000	2,000	1,546	通知郵送代
保険料	4,240	2,000	1,000	2,240	作業保険料
委託料	227,700	226,000	113,000	1,700	植栽 ともなり橋ライト修繕
原材料費	30,000	30,000	15,000	0	花苗代
繰越金	122,761	0	0	122,761	
計	427,679	270,000	135,000	157,679	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合